

# 目次

推薦のことば 3

出版にあたって 4

## 第一章 いじめの定義・様態・原因 10

I：いじめの定義 11

II：いじめの様態 11

III：日本のいじめにみる特徴 12

IV：いじめの分類 13

V：いじめの原因 13

VI：いじめを生む原点は“攻撃が快感を生む”ことにある 14

VII：特定の人物間で継続する人間関係性とは何か 15

## 第二章 いじめと嗜癖 18

I：嗜癖とは 18

A：物質嗜癖（サブスタンスアディクション） 18

B：行為嗜癖（プロセスアディクション） 19

C：関係嗜癖（リレーションシップアディクション） 19

II：いじめの中核は関係嗜癖か 22

A：プロセス（行為）嗜癖型のいじめ 22

B：一方的に人間関係性を作る嗜癖がいじめの中核である 23

III：関係嗜癖の分類 23

IV：支配型関係嗜癖とは 24

V：支配型関係嗜癖の分類 25

VI：愛着型関係嗜癖とは 26

VII：まとめ 27

## 第三章 関係嗜癖形成/継続の因子分析 28

I：関係嗜癖の形成・継続因子 28

A：加害者の因子 28

B：被害者の因子 33

C：被害者/支配される側の利益 35

D：加害者と被害者の物理・空間的距離 36

E：加害者、被害者の所属する組織の要因 37

II：いじめのタイプ別にみた関係嗜癖形成因子 37

A：報酬遮断を用いるいじめ（支配型関係嗜癖） 38

B：群居・愛着遮断するいじめ（無視・シカトを用いる支配型関係嗜癖） 38

C：愛着型関係嗜癖に関係するいじめ 38

III：まとめ 39

## 第四章 嗜癖の心理教育と隠蔽開示 42

I：嗜癖の心理教育（いじめ嗜癖説） 42

A：嗜癖と呼ばれる人間の行動 43

B：関係嗜癖の分類 45

II：いじめ嗜癖説の心理教育が関係者に与える影響 51

A：いじめ加害者にとってのメリット 51

B：いじめ被害者が、嗜癖の心理教育を受けるメリット 51

C：教師が嗜癖の心理教育を行うメリット 52

D：いじめの観客/傍観者が嗜癖の心理教育を受けるメリット 52

III：隠蔽開示 52

A：隠蔽開示の重要性 52

B：いじめ（報酬遮断性支配型関係嗜癖）隠蔽の開示 55

C：SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を使ったいじめの隠蔽開示 62

## 第五章 いじめ克服のケース報告 64

I：事例報告 64

症例1：嗜癖説に基づいたいじめの理解と対応について（学会報告） 64

症例2：被害者・加害者の空間分離を必要とした1例 65

症例3：行為嗜癖から関係嗜癖への移行期に介入したいじめ予防 66

症例4：いじめ継続因子としての組織隠蔽 69

II：PTSDの病態について 76

## 第六章 終わりに（今後の課題） 82

I：いじめの実態把握 82

II：いじめの発生と予防 83

III：支配型関係嗜癖の社会的意味 84

IV：関係嗜癖は最大の対人関係障害である 85

## 第七章 資料 86

資料I：心理的距離からみた対人関係障害のパターン分類 86

資料II-①：報酬遮断性攻撃行動といじめの関係 87

資料II-②：群居/愛着遮断性攻撃行動といじめの関係 88

資料III-①：文部科学省通達（平成24年11月27日付） 89

資料III-②：いじめ防止対策推進法のあらまし（平成25年6月28日付官報） 90

資料IV：ヒトの基本的欲求と中枢神経機構－進化的・生物学的理論を背景に－ 92

資料V：いじめ解決に関係する技法 99

索引 104